



広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和5年10月25日
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082) 221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→

（注）5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、外出関連消費が好調なことや、猛暑による夏物商品の需要の増加により、緩やかに回復しつつある。生産活動は、自動車向けの生産回復などから、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
----	------------	-------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	→
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→

設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は増益見込み	5年度は減益見込み	↘
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「上昇」超に転じている	↗
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
輸出	前年を上回る	前年を下回る	↘

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、ホームセンター販売は、園芸用品などが低調であり、前年を下回っている。スーパー販売、ドラッグストア販売は、外出関連用品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、軽乗用車が前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 例年より気温が高く、屋外作業で使用する園芸用品や植物の苗などが低調であった。（ホームセンター）
- 外出の増加により、キャリーケースや旅行先でのリゾート着、日焼け止めなどが好調。また、猛暑により冷感商品なども好調となった。（スーパー）
- 外出機会の増加とマスクを外す動きにより、日焼け止めやメイク用品が好調となっている。気温が高かったため、制汗剤や経口補水液なども好調となった。（ドラッグストア）
- 半導体不足の緩和により完成車メーカーからの供給が増えたことから、納車待ちの状況が解消されつつあり、登録台数が前年を上回っている。（自動車販売）
- 旅行需要は好調で、外国人観光客の宿泊や飲食店の利用も増加している。（宿泊業・飲食サービス業）

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

輸送機械は、台風の影響による工場の稼働停止などから減少している。一般機械は、コロナ特需のあった医療関係向けなどが減少している。プラスチック製品は、ノートパソコン向けの需要が低迷していることなどから、減少している。一方、電気機械は増加している。鉄鋼は、自動車向けの生産回復などから、増加している。このように、生産活動は、全体では、緩やかに持ち直しつつある。

- 半導体不足の影響が緩和されつつあることから、生産は増加傾向であるものの、台風の影響で工場を停止したほか、足元では新旧モデルの生産切替があったことから、生産量が減少している。（輸送機械）
- コロナ特需のあった医療関係向けやノートパソコン向けなどの受注が低下していることから、生産量が減少している。（一般機械）
- ノートパソコン向けは、リモートワーク特需の市場在庫消化が続いており、生産量が減少している（プラスチック製品）
- 自動車メーカーの生産回復に伴い、パワー半導体向けの需要が増加していることから、生産量が増加している。（電気機械）
- 半導体不足の影響が緩和されてきたことにより、自動車メーカーの生産が回復していることから、自動車向けの生産量が増加している。（鉄鋼）

■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移しており、新規求人数は底堅く推移していることなどから、持ち直している。

- システムエンジニアの採用において、コンサルタントや人材紹介会社など、あらゆる人材募集策を駆使しているが、思うように人材確保できていない。（一般機械）
- 新型コロナウイルスの5類移行による人流回復や、新規出店等により人手が不足気味。派遣社員も活用しているが、派遣料金を上げる必要があり、コストアップになっている。（小売）
- 新卒採用の早期内定傾向は年々高まっており、インターンシップ募集企業数も増加していることから、企業間での学生の獲得競争が激化している。（人材派遣・紹介）

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7-9月期

- 製造業では、「その他製造業」などで減少するものの、「自動車」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「建設」などで減少するものの、「運輸、郵便」、「金融・保険」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 新型車向けの設備投資を実施。(自動車)
- 需要の増加に対応するための物流拠点整備を実施。(運輸、郵便)

■ 企業収益 「5年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7-9月期

- 製造業では、「非鉄金属」、「その他輸送用機械」などで減益となるものの、「自動車」、「金属製品」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「建設」、「卸売」などで増益となるものの、「運輸、郵便」、「情報通信」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年7-9月期

- 企業の景況判断 BSI は、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「上昇」超幅が拡大する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、給与住宅が増加しているものの、分譲住宅、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を下回る」

- 輸出(円ベース)は、船舶などが増加しているものの、鉄鋼などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、西欧などで増加しているものの、アジアなどで減少している。
なお、輸入(円ベース)は、石炭、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、大洋州、アジアなどで減少している。

広島県内経済情勢報告

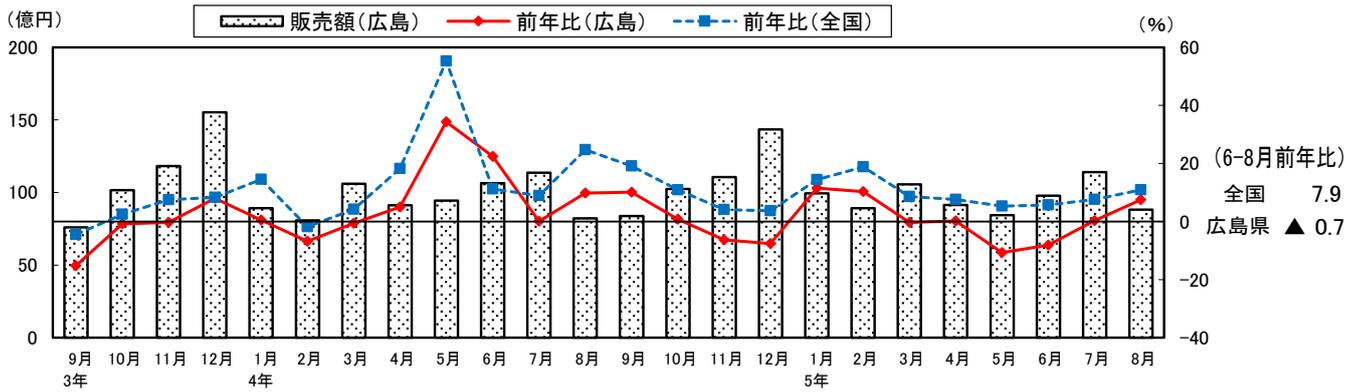
(令和5年10月25日)

資料編

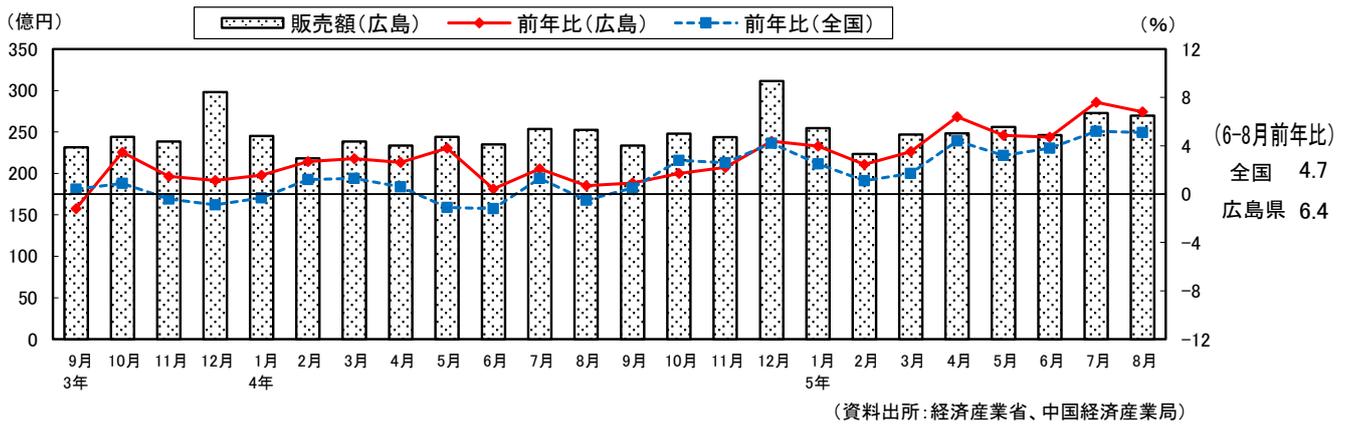
	目次	ページ
1.	個人消費	1
2.	生産活動	3
3.	雇用情勢	4
4.	設備投資	5
5.	企業収益	5
6.	企業の景況感	6
7.	住宅建設	6
8.	輸出	7

1. 個人消費 緩やかに回復しつつある

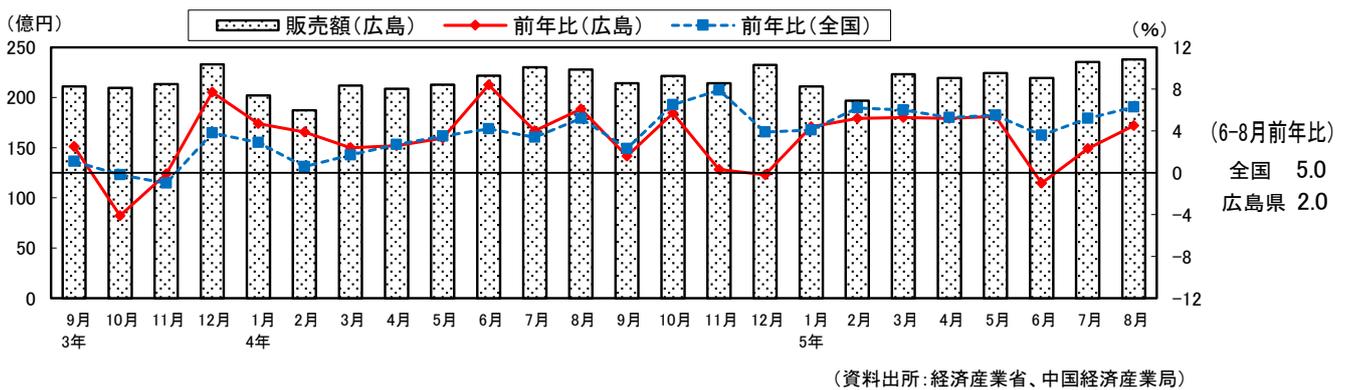
(1) 百貨店販売額(全店舗)



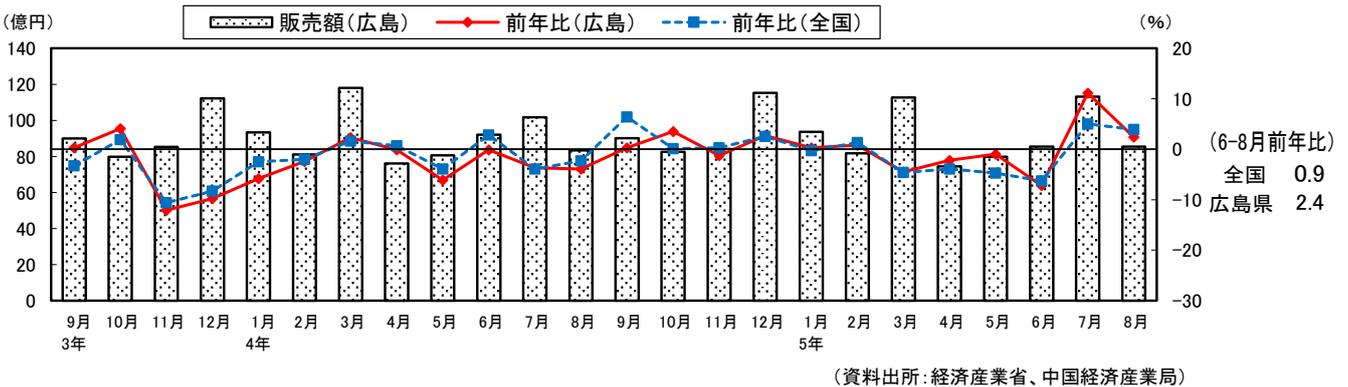
(2) スーパー販売額(全店舗)



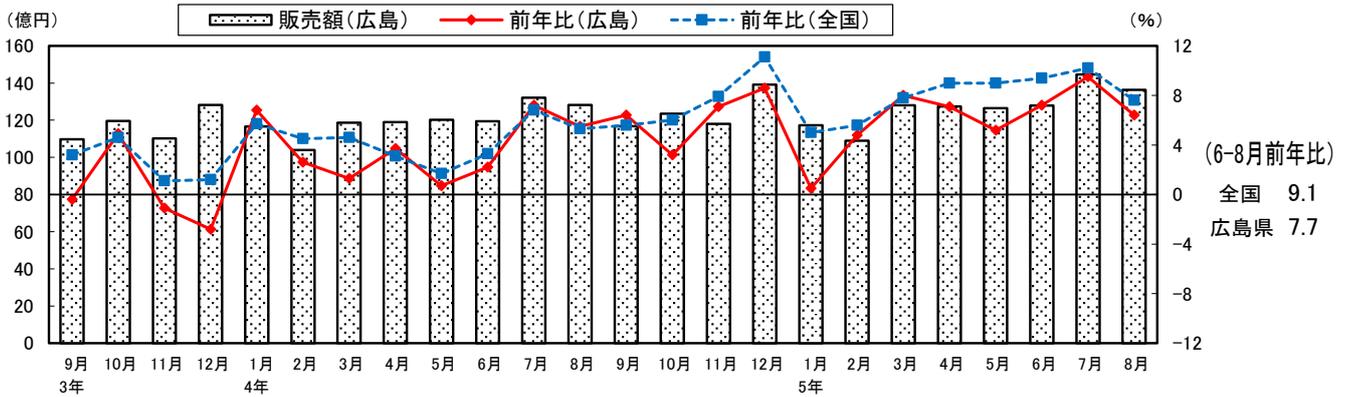
(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)

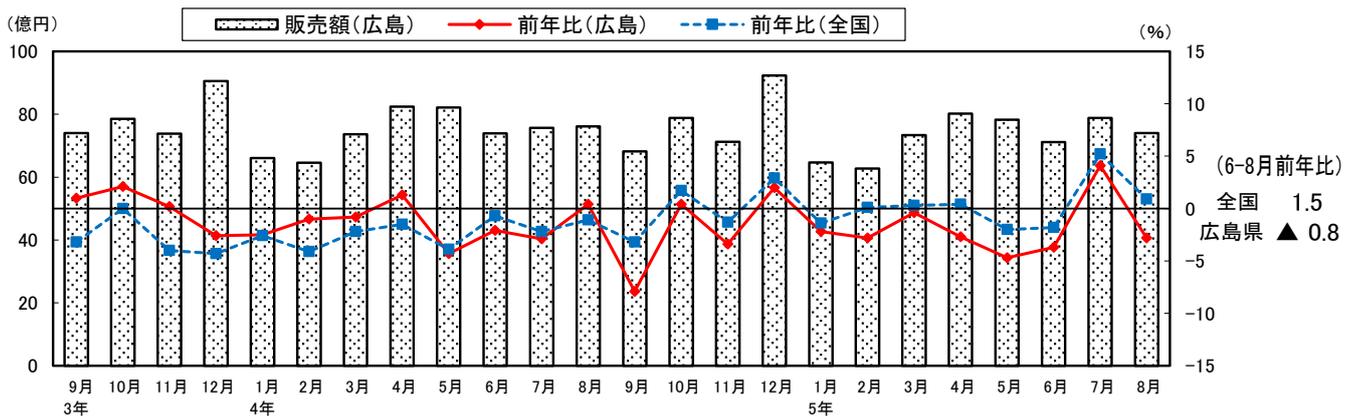


(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



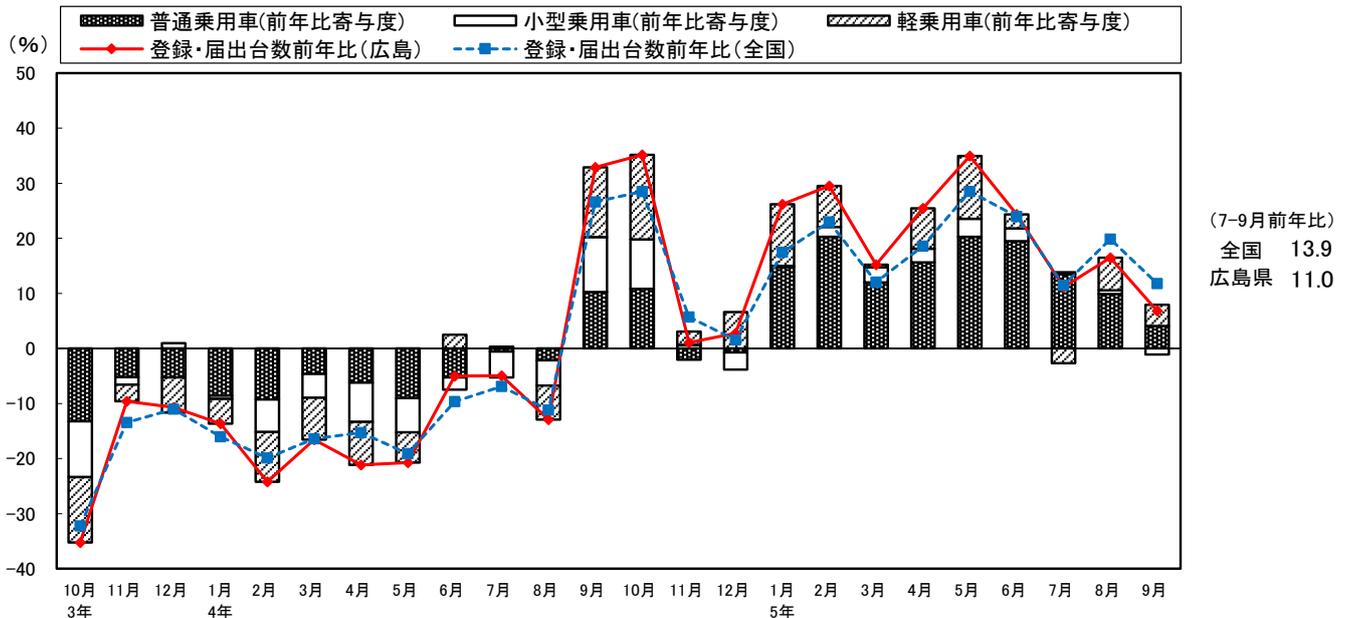
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

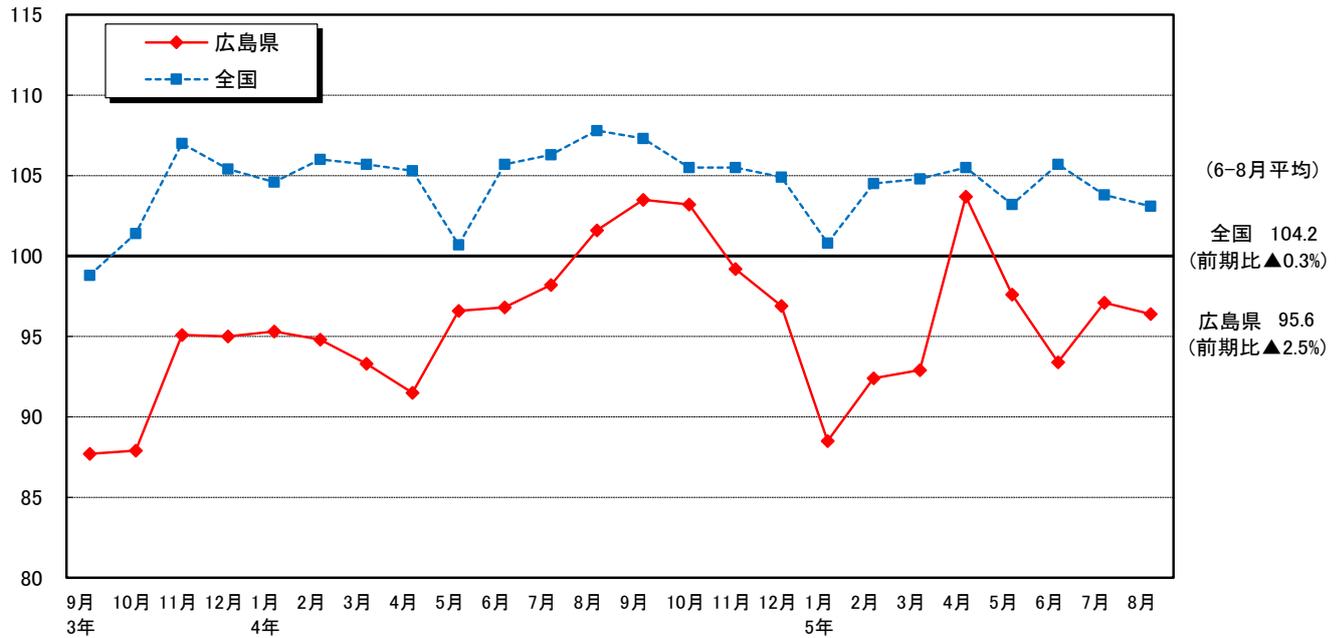


(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 緩やかに持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

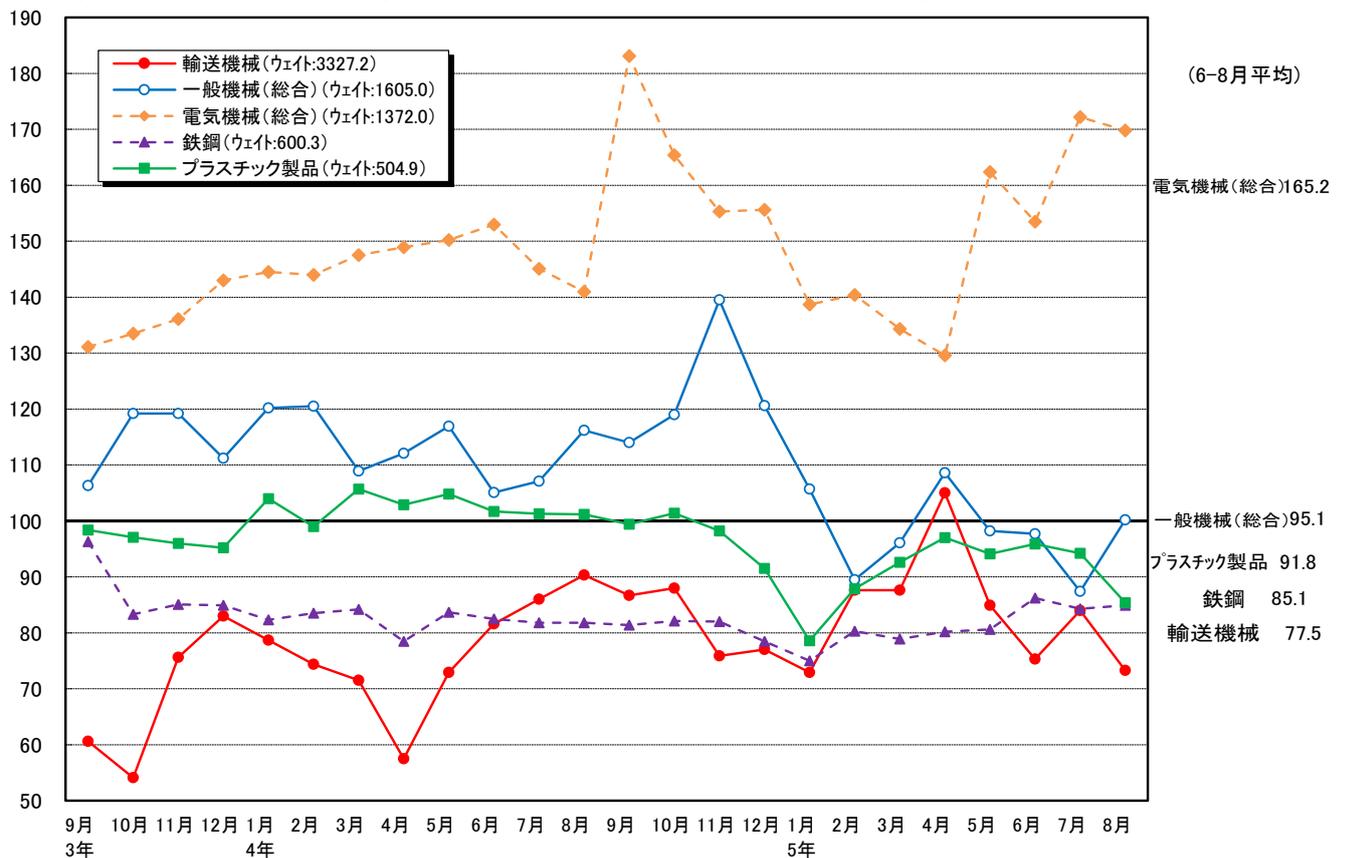
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

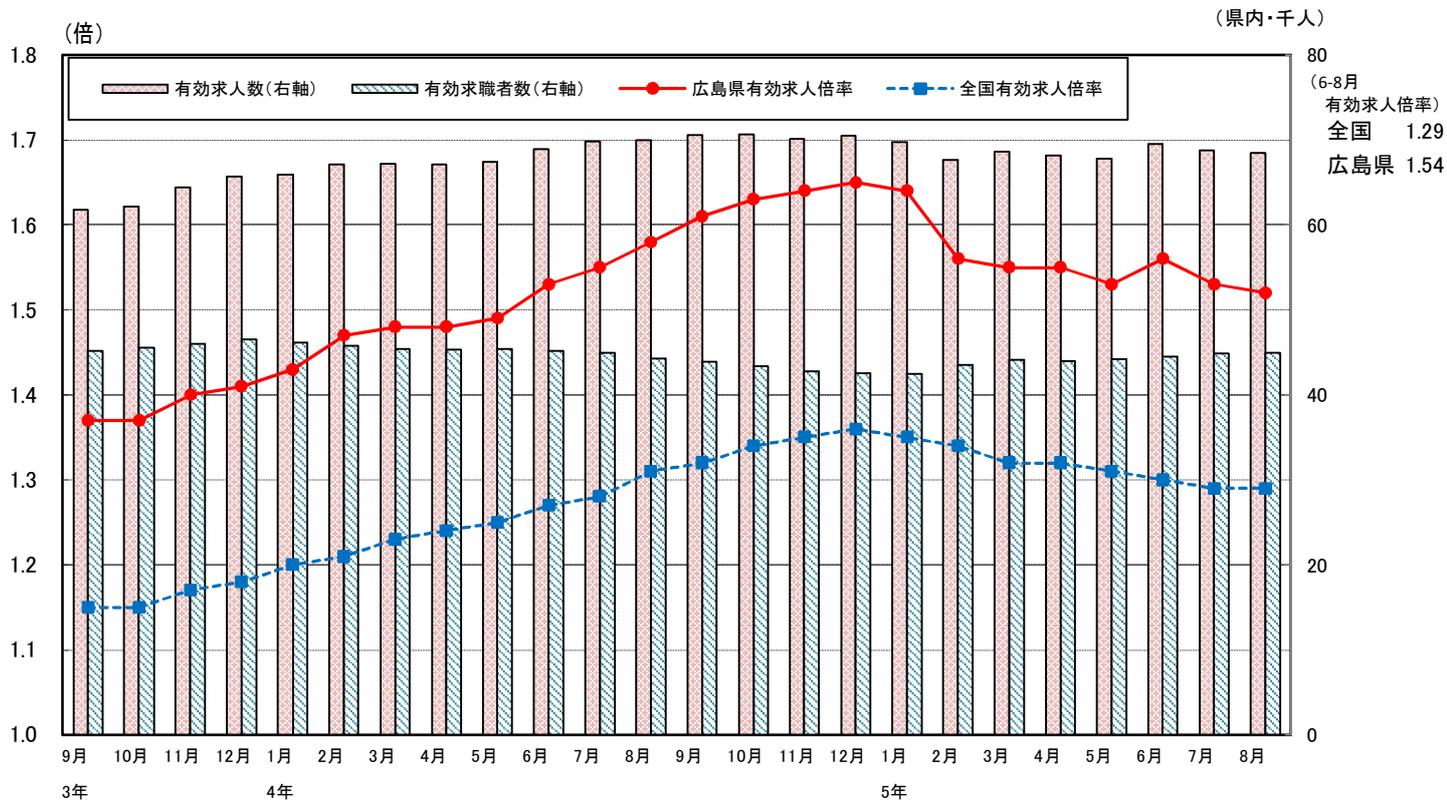
(指数) (平成27年=100)



(資料出所: 広島県)

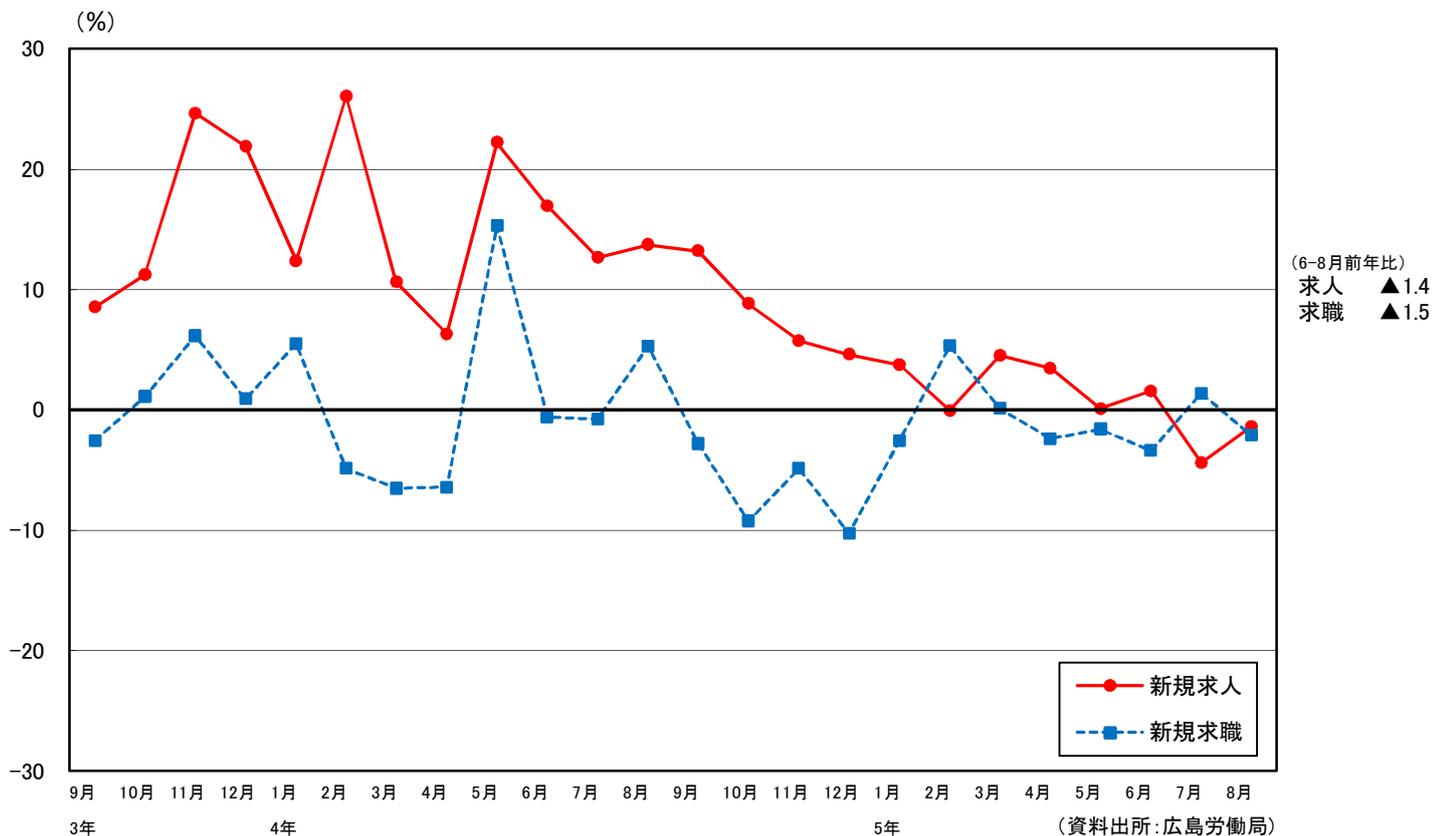
3. 雇用情勢 持ち直している

(1) 有効求人倍率、有効求人人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



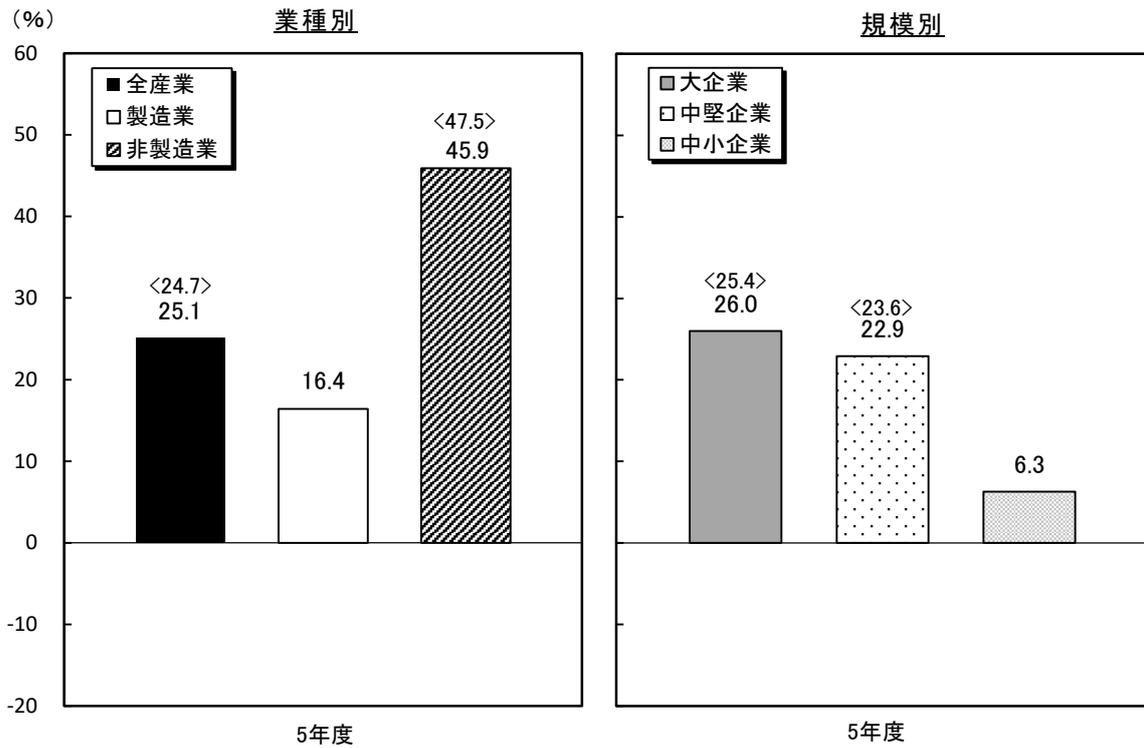
(資料出所: 厚生労働省、広島労働局)

(2) 県内新規求人人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

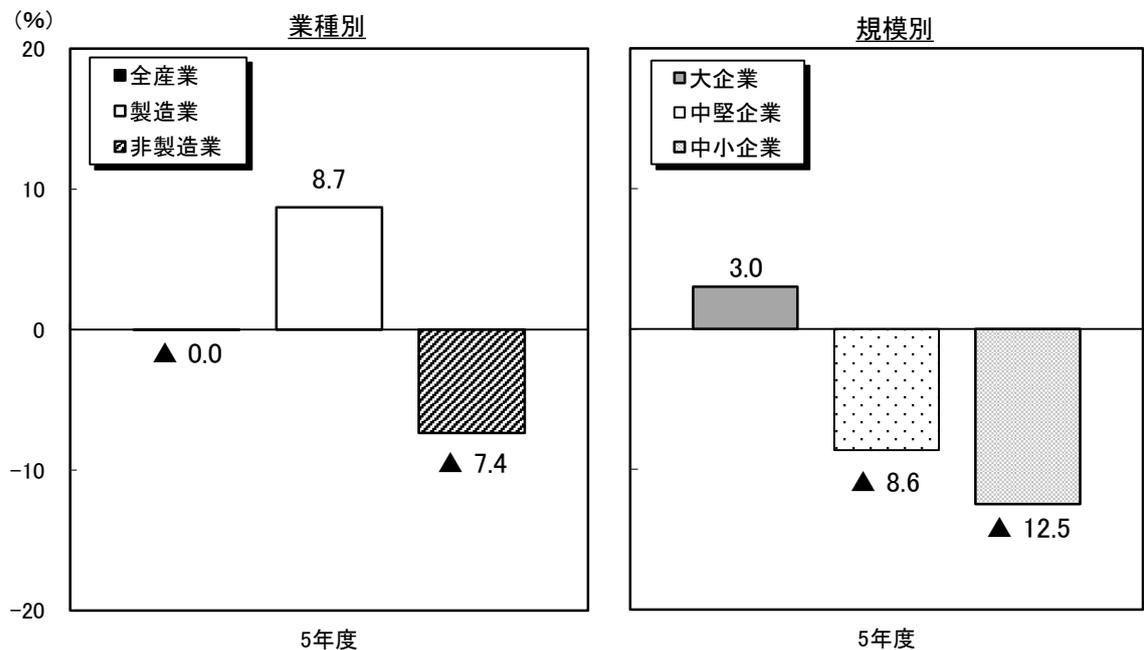


〈 〉書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

5. 企業収益 5年度は減益見込み

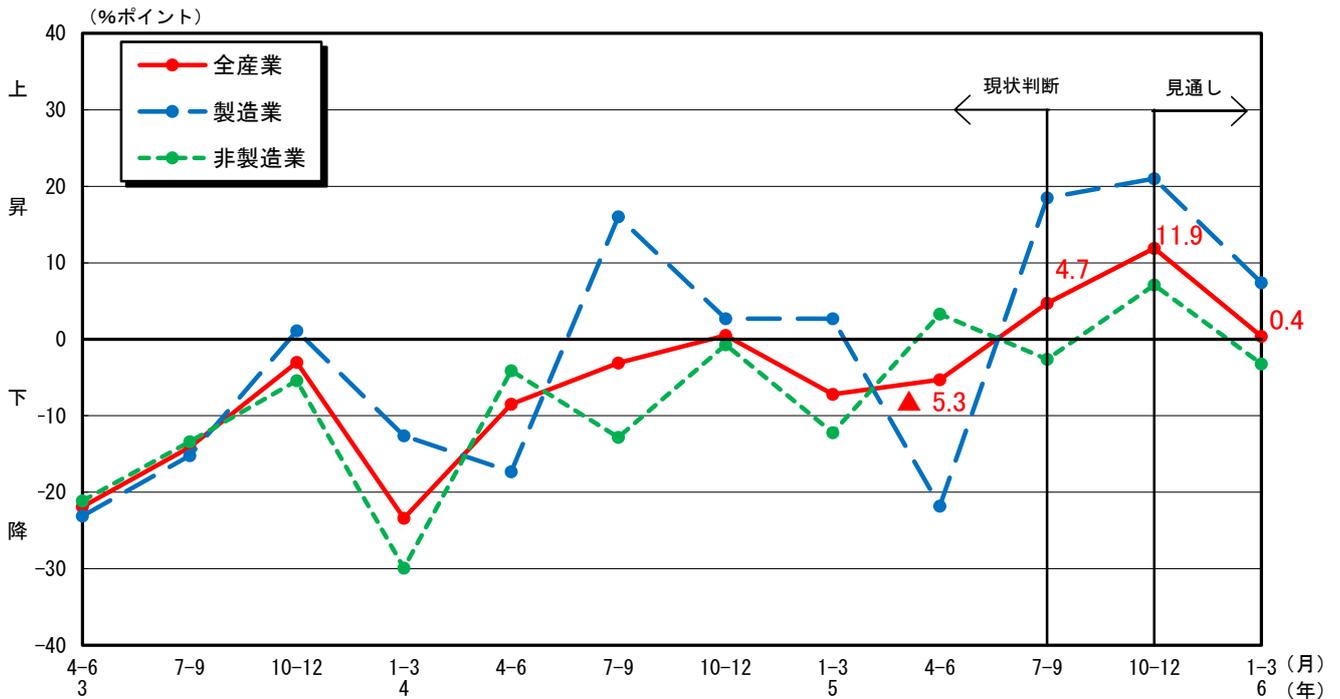
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

6. 企業の景況感「上昇」超に転じている

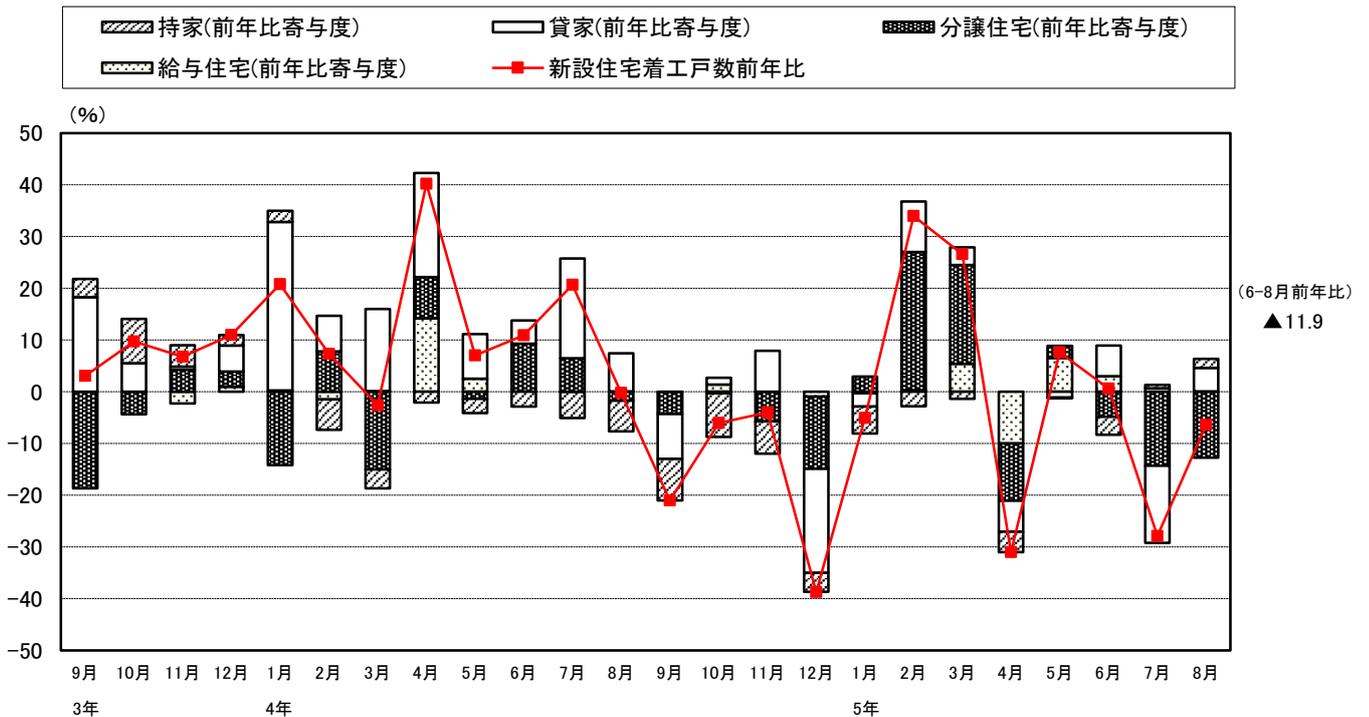
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

7. 住宅建設 前年を下回る

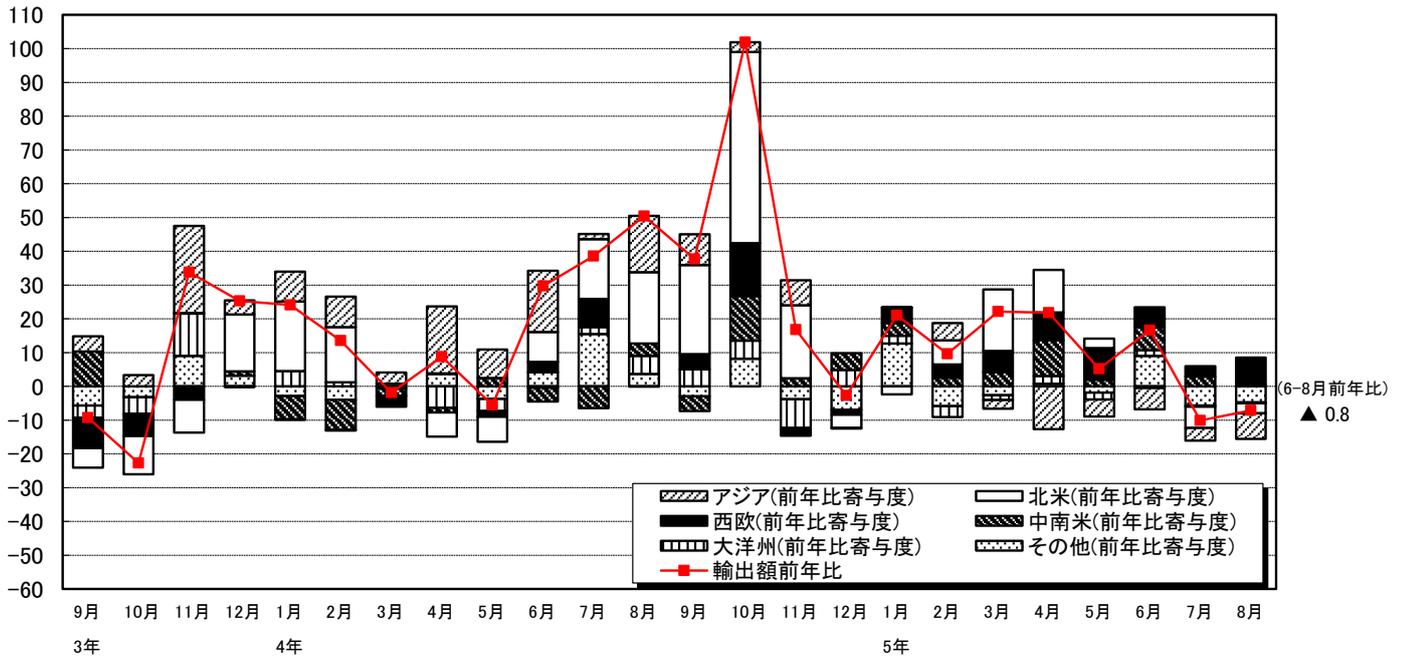
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

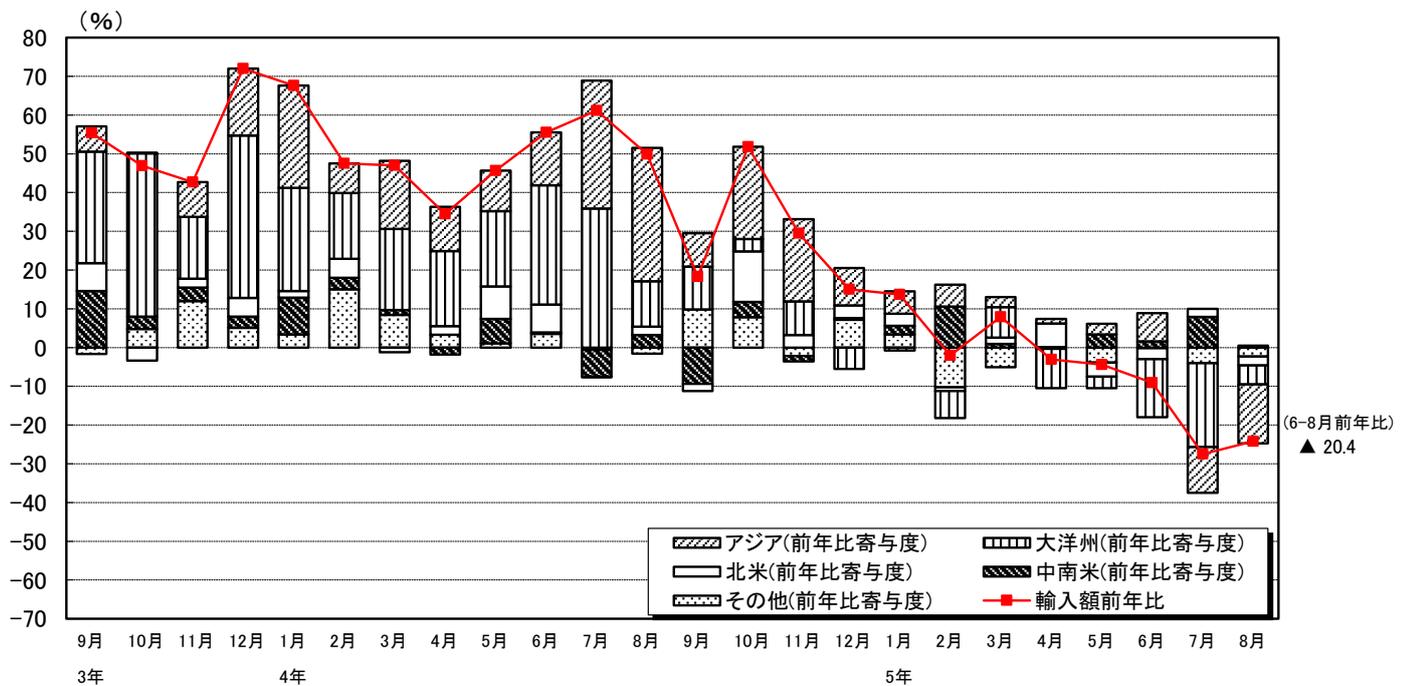
8. 輸出 前年を下回る

輸出(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>
輸入(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)